

(問題 1 の続き)

- (3) 図 1 中の地点 Q では、A 層と C 層の境界露頭が確認された。この露頭で観察される A 層と C 層の接触関係を表す最も適切な用語を答えよ。
- (4) B 層の砂岩単層中には、地層の下部から上部へ向かい構成粒子の粒径が小さくなる構造が観察された。このような堆積構造の名称を答えよ。
- (5) 下線部 (b) に関して、一方向流により形成される堆積構造について、次の①～④の記述の中から正しいものを全て選び、番号で答えよ。
- ① 一方向流により形成された堆積構造としては、ヘリンボーン構造やハンモック状斜交層理などがある。
 - ② 中礫粒子を用いた水槽実験では、一方向流の流速を大きくしてもリップルは形成されない。
 - ③ 一方向流で形成されたリップルを特にウェーブリップルと呼ぶ。
 - ④ 炭酸塩堆積環境においては、一方向流によりバウンドストーンの堆積組織をもつ炭酸塩堆積物が形成される。
- (6) D 層について詳しく調べたところ、炭酸塩鉱物を構成する粒子は、主に微小な浮遊性生物の生物遺骸から構成されることが分かった。この浮遊性生物として適当なものの名称を 2 つ答えよ。
- (7) 下線部 (c) について、断層面の観察から断層の変位方向を推定する方法について説明せよ。説明には図を用いてよい。
- (8) 下線部 (d) のような特徴をもつ断層岩を何と呼ぶか答えよ。

問 2 次の 5 つの用語から 2 つを選び、それらについて 150 字以内で解説せよ。解答には図を用いてよい。

- ① タービダイト
- ② 永久歪
- ③ 層状チャート
- ④ 縞状鉄鉱層
- ⑤ 炭酸塩補償深度